



ユーオブザーブ

uObserve

トラブルシューティング編

仮想基盤・VDIの
管理、監視、
ボトルネック可視化



運用監視のご担当者さま。こんなお悩みありませんか？

トラブルの調査は急務だがシステムは止められない！

一時的な間欠障害の原因分析はどうしたら...

各部隊で運用がまちまち...
トラブル発生時の原因切り分けが大変

▶ 裏面の詳細説明へ！

1.稼働中のシステムを止めずに導入(VMware、Nutanix)～自動でデータ収集/解析

0:00	インストーラの取得	デモライセンス発行可！ VMware用インストールモジュールは“無償トライアル”として専用サイトからダウンロードも可能です(申請不要)
	インストール	エージェント不要！ 各VMへのエージェント導入も不要で利用可能です
1:00	データ収集・分析	チューニング不要！ インストール後自動でデータを収集・解析します
1:30	可視化	製品知識不要！ 数クリックで障害箇所にとどり着ける直感的なGUI

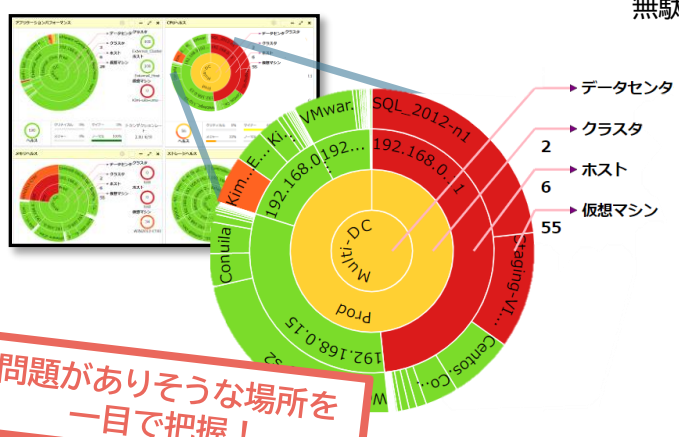
約1時間半※で可視化を開始！

※ソフトウェアインストールから利用開始までかかる平均時間
 ※監視対象ホスト5台にvSTを導入した場合
 ※ネットワークの回線速度により変動します

2.稼働情報、性能情報の相関分析により 仮想基盤全体の可視化をワンストップで実現

メモリ・ストレージ・CPU・ネットワーク・アプリケーションの仮想基盤全体のパフォーマンスデータを自動で評価

uObserveのGUIダッシュボード



uObserve(Uila)の導入でいきなり被疑箇所を特定 無駄なやり取りを省いてトラブルシュートを大幅スピードアップ



問題がありそうな場所を一目で把握！

3.リアルタイムでの解析に加え、トラブル発生時に遡って解析することも可能

リアルタイムでの結果だけでなく、解析データを蓄積することで過去のトラブル発生時に遡り、正確な状況を確認可能

カレンダーから 特定の日付を選択



カーソルを絞り込むと、指定した時間帯の状況を表示

解析データを蓄積！

4. Horizon VDI 各セッションのモニタリングも実現



各VDIセッションの情報もまるわかり！

選択した時間帯に存在したVDIセッションの一覧と 個々のVDIセッションのより詳細な情報、画面転送プロトコル (Blast、PCoIP)の統計情報などを表示

- 表示項目
- ✓ セッション状態 (Idle/Disconnected/...)
 - ✓ ログオンに要した時間
 - ✓ VMのCPU、メモリ使用率
 - ✓ VM内で動作しているプロセスのCPU、メモリ使用率 など...

無償トライアル



uObserveをインストールいただくと、2週間は申請不要で利用可能です。※
 まずはお気軽にお試しください。 ※ソフトウェアインストールには会員登録が必要です。

